

アントニー・ブリンケン米国国務長官、林芳正日本国外務大臣及び朴振（パク・チン）韓国外交部長官による共同声明

米国、韓国及び日本は、最近の北朝鮮による弾道ミサイル発射を強く非難し、朝鮮半島の完全な非核化及び関連する国連安保理決議の完全な履行に向けて三か国協力を強化することにコミットし、前提条件なしに北朝鮮と会うことに引き続きオープンであることを強調する。

米国、韓国及び日本は、5月25日の北朝鮮による大陸間弾道ミサイル及びより短距離の弾道ミサイル発射について深刻な懸念を表明する。北朝鮮は、2021年9月以降、弾道ミサイル発射の頻度及び規模を著しく増加させている。それぞれの発射は複数の国連安保理決議に違反し、地域及び国際社会に深刻な脅威をもたらした。我々は、北朝鮮に対し、国連安保理決議の下での義務に従うとともに、国際法に違反し、緊張を高め、地域を不安定化し、全ての国の平和と安全を脅かす行為を直ちに止めるよう求める。

北朝鮮による不法で不安定化させる行為に対して、我々の国は、調整された米韓・日米演習を実施し、地域の安全保障及び安定に対する共有された、かつ明確なコミットメントを表明した。これらの発射は、インド太平洋地域における平和、安全及び繁栄を確保するために米韓同盟及び日米同盟を一層強化することの重要性を強調する。また、我々の国は、三か国の安全保障協力を進めていくことにコミットしている。米国は、拡大抑止を含め、韓国及び日本の防衛への強固なコミットメントを再確認した。

我々は、13か国の安保理理事国の賛成にもかかわらず、国連安保理が北朝鮮によるあからさまかつ度重なる国連安保理決議違反に対する決議の採択に至らなかったことを極めて残念に思う。我々は、北朝鮮に対して不法な行為を止め、代わりに対話に関与するよう求めるために、国際社会との連携を一層強化することへのコミットメントを再確認する。

我々は、真剣かつ持続的な対話への道が依然として開かれていることを強調するとともに、北朝鮮に対して交渉に戻るよう求める。

我々は、現在進行中の新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるものも含め、北朝鮮にいる人々が経験している深刻な苦難に対し深い懸念を表明し、北朝鮮が国際的な支援の申し出に対して前向きに応えることを希望する。

また、我々は、拉致問題の迅速な解決の実現の重要性について再確認した。

(了)